

栄 森の地下街「まちなかね」でURの災害復旧・復興支援の歴史を 紹介する展示会を12月23日から開催

独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）が運営している栄 森の地下街の「まちなかね」で、UR都市機構がこれまで取り組んできた災害復旧・復興支援の取り組みを紹介する展示会を以下の通り実施します。

展示会では、阪神・淡路大震災や東日本大震災、令和6年能登半島地震などの大規模災害に対する復旧・復興支援の取り組みを紹介するほか、令和7年3月14日（金）から3月16日（日）にかけては、東北市町の特産品を集めた物産展を開催します。

1 イベントの概要

(1) 令和6年能登半島地震、阪神・淡路大震災に関連した復旧・復興支援の取り組み紹介

- ①日 時 令和6年12月23日（月）～令和6年12月27日（金） 10時～19時
※23日は13時～19時、27日は10時～15時まで
- ②概 要
 - ・復旧・復興支援の取り組みを紹介するパネル展示・動画放映
 - ・防災とまちづくりをテーマとした「令和6年度 UR ひと・まち・暮らしシンポジウム」のアーカイブ動画放映

(2) 阪神・淡路大震災に関連した復旧・復興支援の取り組み紹介

- ①日 時 令和7年1月14日（火）～令和7年1月19日（日） 10時～19時
※14日は13時～19時、19日は10時～17時まで
- ②概 要
 - ・復旧・復興支援の取り組みを紹介するパネル展示・動画放映

(3) 東日本大震災に関連した復旧・復興支援の取り組み紹介

- ①日 時 令和7年3月3日（月）～令和7年3月16日（日） 10時～19時
※3日・10日は13時～19時、9日・16日は10時～17時まで
- ②概 要
 - ・復旧・復興支援の取り組みを紹介するパネル展示・動画放映
 - ・東北市町の特産品の販売（3月14日（金）～3月16日（日））



パネル展示イメージ



物産展イメージ

2 イベントの目的

UR都市機構は、阪神・淡路大震災や東日本大震災、令和6年能登半島地震など、日本各地で発生した災害からの復旧・復興を全力で推進しています。令和7年には令和6年能登半島地震から1年、阪神・淡路大震災から30年が経過することを受け、URの復旧・復興支援事業の歩みを紹介することを通じて、震災の記憶や教訓を後世へ継承していくことを目的としています。

3 イベント開催場所

栄 森の地下街「まちなね」（南二番街⑩番店舗）

住所：名古屋市中区栄三丁目5番12号

（地下鉄東山線または、名城線「栄」駅 東改札口から徒歩1分）

（お問い合わせ先）

独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）中部支社

総務部 総務・法務課（報道担当）

（電話）052-238-9105

（担当）岡本

UR都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・暮らしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害復興支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

<https://www.ur-net.go.jp/>



UR都市機構は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。